

土浦駅周辺部における場所を示す言葉の分布考察

Spatial Distribution of the Word which Indicate the Place in Tsuchiura City

市川康夫 (博士前期課程地球科学専攻)

ICHIKAWA Yasuo (Master's Program in Geosciences)

I. 研究目的

本研究では、町に溢れる様々な言葉から「場所を示す言葉」を抽出し、言葉が規定する空間的範囲やその分布的特性、そしてそれらに影響を及ぼす要因について明らかにすることである。

II. 分析手法と使用データ

- 1)土浦駅周辺の調査対象範囲を歩行し、看板やポスター等に記載される「場所を示す言葉」の位置を小型 GPS 端末にてウェイポイントデータとして記録した.具体的な指標は、①「駅前」、②「土浦」、③「霞ヶ浦」、④「つくば」、⑤「柏・綾瀬」の 5 つである。
- 2)記録したデータを Arc Map に取り込み、(株)ZENRIN の Z-Map を使用して分布図を作成した。
- 3)分析として「多重リングバッファ」を用いて、土

浦駅と対象の指標との距離の関連性を考察し、さらに Spatial Analyst の「カーネル密度分析」にて指標の密度分布を求めた。

III. 結果

- 1)対象地域内における「駅前」という言葉の分布は土浦駅を中心とした半径 250m の範囲内にすべて存在し、分布密度から土浦駅が規定する駅前の範囲が示された (図 1) .言葉の分布は、商店などが集中する駅西口の大和町付近と、駅東口の幹線道路沿いに特に多く分布した。
- 2)一方「土浦」という言葉の分布密度は、主に駅周辺と亀城公園周辺において高い(図 2).この結果から、土浦駅周辺においてはかつての中心地であった亀城公園と現在の中心地である土浦駅の 2 地点が影響を及ぼす要因であると予測される。

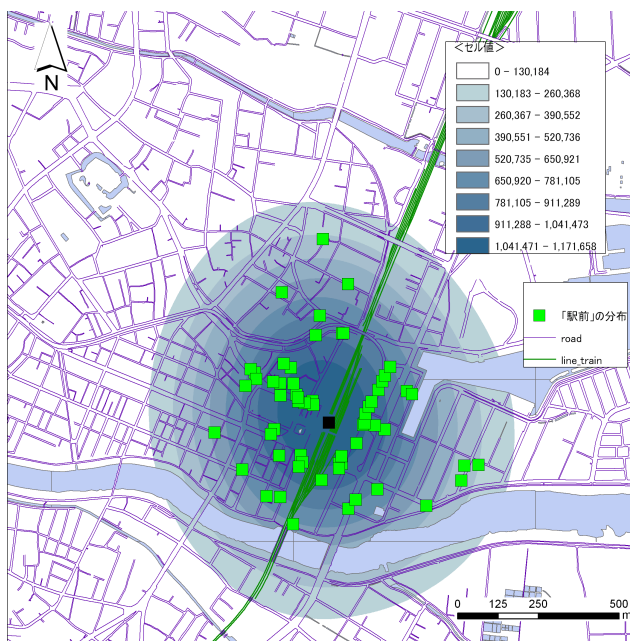


図 1 「駅前」という言葉の分布  
(現地調査により作成)

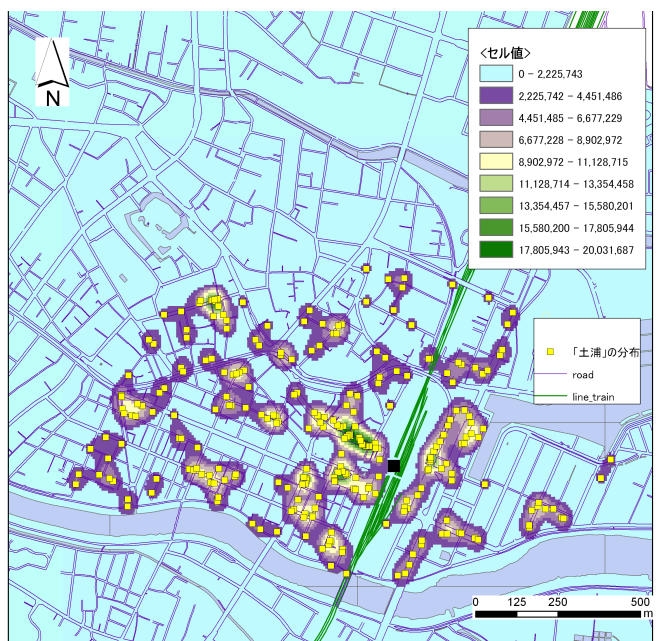


図 2 「土浦」という言葉の分布  
(現地調査により作成)